

中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる

わくわく中部



中部教育局社会教育担当だより令和4年10月7日発行

10月の主な行事予定

10月13日(木)第4回鳥取県地域コーディネータ養成講座(まなびタウンとうはく)

10月14日(金)第3回人権教育アドバイザー会議(倉吉体育文化会館)

10月15日(土)第4回中部地区人権教育懇談会→中止

10月27日(木)~28日(金)第64回全国社会教育研究大会(広島大会)

話を聞くということは、教えないこと!

家庭教育支援チームの 取組について情報交換

10月3日に第2回鳥取県子育て・家庭教育支援員等フォローアップ研修会と併せて家庭教育支援チームの情報交換会が、上灘コミュニティセンターでありました。前半の情報交換会では、アウトリーチ型の取組を実践されているチームがあり、就学前・入学3か月後・更に5か月後と3回に分けて全ての家庭訪問を行うなど、きめ細かな支援をされていました。情報交換会をとおして、家庭教育支援は「何を目的に、何を指すのか」についてチームでしっかり確認することが大事であると思いました。



臨床心理士 小林 幹子 氏

後半は、臨床心理士 小林幹子氏による講演と演習がありました。乳幼児期に大切なコミュニケーションである「まなざしの共有」が、現代の情報化社会では育ちにくくなっている。また、日常生活の中に是か非か、賛成か反対か、といった〇×の単純な二分法で思考するデジタル傾向があり、判断に余白やためがなくなっていることも懸念されていました。

演習では、カウンセリングマインドについて学び、「あなたが教え始めれば、相手は黙ってしまう。」わかったつもりになってしまうと、相手の話が聞けなくなる。つまり「話を聞くということは、教えないこと!」であり、アサーションの考え方と態度が大事だとお話されていました。



残念ながら

今年度も中止です！

今年度予定されていた第4回中部地区人権教育懇談会（10月15日：PTA・教育行政対象）は、現在の新型コロナウイルスの感染状況下では、目的を十分に達成できる形態での開催は困難との判断で、中止となりました。

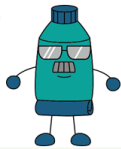
ちゅうぶくん

～秋と言えば～

遊び、睡眠、
食欲、スポーツ、読書、

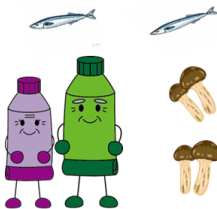


「○○秋」と言えば。



今年、中国でもマツタケが不作らしいし、サンマは相変わらず捕れないし、サツマイモやクリぐらいか。

今年、日本のマツタケは、どうじゃろう？
サンマは相変わらず不漁でとても高いし。



はいわ

今年、運動がてら走って行って、音読しながらクリ拾いで、どうかしら！



問いが命！ ～問いを立てること～

9月13日(火)に人権教育プログラムファシリテータースキルアップ研修会が、倉吉体育文化会館で開催されました。講師には、大阪教育大学 岡田特任教授をお招きし、久しぶりの集合開催ということもあり、参加者は非常に意欲的でした。

今回は、ファシリテーターのブラッシュアップということで、講義・演習を行いました。ファシリテーターとして大事なものは、「問い、問いを立てること」。単にねらいを確認するのではなく、参加者ファーストで、このテーマをとおしてどんなことを大事にしたいかであり、これがないと安心して学ぶ場ができない。そして、ファシリテーターの提案型ではなく、参加者自身が気づきまとめることができ、初めて行動変容につながる。また、「人権教育と道徳教育、行動につながる学びは何が違うのか」など、するどい「問い」もありました。

また、今回の参考資料となったブックトークでは、人権教育のみならず、学校教育や様々なものの見方や考え方などが紹介され、非常に興味深い内容でした。



【あとがき】

若干22歳、ヤクルト村上。日本人のHR記録を更新しました。本当にすごい一言です。海外では、大谷やダルビッシュ、鈴木など、日本人選手の活躍も素晴らしいものがあります。そして、今年は久しぶりに大勢の観客に囲まれた甲子園が帰ってきました。高校球児にとっては、憧れの聖地です。先に挙げた選手たちも同様です。常連校ともなると、部員数も100人超で、県大会ではベンチ入りが20人ですが、甲子園では18人です。選手の中には、3年間公式戦に出場できない選手や3年生であろうとスタンドから応援する選手もたくさんいます。そんな状況であっても、子ども達にとっては、やはり憧れの聖地であり、そして通過点でもあります。

ちなみに、甲子園で活躍した選手でも、必ずしもプロ野球で活躍できるわけではありません。願いが叶わなかった多くの球児たちには、それまで汗水たらし辛い練習にも耐え、全ての時間を注ぎ込んだその足跡が、必ず自分の糧になり新たな道につながっていく。そう信じて進んでほしいと、エールを送りたい。昔の私にも・・・

中部教育局 社会教育担当係長 徳永正樹

電話 0858-23-3253

FAX 0858-23-5203

E-mail tokunagama@pref.tottori.lg.jp

